

科学技術リテラシー向上へのチャレンジ

「子どもを 学校を 地域を変える！」

JST 委託研究成果発表会 兼 第9回全国大会

2008年1月13日・14日

主催：NPO法人 ガリレオ工房
（財）日本科学技術振興財団・科学技術館
NPO法人 理科カリキュラムを考える会
共催：日本学術会議 科学力増進分科会
東京理科大学 大学院 理学研究科理数教育専攻
東京大学 教養学部 教養教育開発機構／他
後援：文部科学省／経済産業省／（社）日本物理学会／他
会場：東京理科大学神楽坂校舎6号館

プログラム

第1日（1月13日）10:00～18:00

- ◆開会の辞 滝川洋二
（東京大学、NPO 法人ガリレオ工房理事長、NPO 法人理科カリキュラムを考える会理事長）
- ◆講演「科学が地球の危機を救う！ 科学技術リテラシーへの課題」
有馬朗人（（財）日本科学技術振興財団会長・科学技術館館長、元文部大臣）
- ◆パネルディスカッション
「理科の授業を支援する新しい試み—理科支援員・特別講師の初年度成果」
佐々木亨（文部科学省科学技術・学術政策局基盤政策課）
守本憲弘（経済産業省経済産業政策局産業人材参事官室）
大木茂（独立行政法人科学技術振興機構理数学習支援部理科学習支援課）
高安礼士（千葉県教育センター）
曾我部國久（出雲科学館館長）／他
- ◆ポスターセッション「理科支援員／特別講師／科学で地域づくり実践事例／他」
- ◆パネルディスカッション「科学で地域づくり実践事例」
小金井市「科学でまちづくり東京・小金井からの発信」
滝川洋二／他
熊本県「日本最大2日で5万人集客の科学の祭典の作り方」
佐藤成哉（愛知淑徳大学・元熊本大学）
堀田稔（熊本県民テレビ）
豊田市「動き始めたものづくり文化のまち構想」
緒方秀充（豊田市社会部生涯学習課）
古河市「地域を変えた総和おもしろ科学の会」

長浜音一（古河市市議会議員）
北海道「どうやって科学の祭典を23 会場に広めたか」
斎藤孝（北方圏理科教育振興協会）／他

- ◆研究報告「科学リテラシー研究の現状とこれから」
北原和夫（ICU、日本学術会議）
- ◆研究報告「世界の理科教科書と日本の比較」
石渡正志（NPO 法人理科カリキュラムを考える会理事）
- ◆研究報告「科学Web の現状について」
古田豊（立教新座中高校）
土井美香子（NPO 法人ガリレオ工房理事）
- ◆研究報告「科学ボランティアについて」
山田善春（大阪市立高校）
滝川洋二
- ◆ポスターセッション「理科支援員／特別講師／科学で地域づくり実践事例／他」
- ◆懇親会

第2日（1月14日）9:30～16:00

- ◆挨拶 滝川洋二
- ◆講演——「学習指導要領の改訂と21 世紀の科学技術リテラシー」
清原洋一（文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官）
- ◆事例報告——「自治体における理科副読本の作成とその授業等への効果」
千葉県野田市 「子どもの学びを支援する」
大関健道（野田市教育委員会指導課指導主事）
- ◆ポスターセッション
「世界の教科書／理科カリキュラムを考える会メンバーの各地での取り組み／他」
- ◆研究報告——「理科カリキュラム改善への提案」
（1）「世界標準のカリキュラムと新指導要領」
石渡正志（R ープロジェクト）
（2）「系統的な理科カリキュラムとわかりやすい教科書」
兵頭俊夫（東京大学、小中高理科カリキュラム研究会）
- ◆研究報告「先生を支援する理科カリWeb_理科授業ナビで教材・授業案」
小川慎二郎（桜蔭中学高校）